

北広島商工会だより

令和3年11月1日号
第125号

会員の状況
(部会の重複加入あり)

会員	764名 (+ 6、- 2)
商業	450名 (+ 6、- 1)
工業	370名 (+ 0、- 1)
青年	53名 (+ 0、- 0)
女性	55名 (+ 0、- 0)

※+加入人数、-脱退人数

発行 北広島商工会事務局
責任者 事務局長 藤木 幹久
〒061-1121
北広島市中央5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212
shokokai@kitahironavi.or.jp
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

■BP(ボールパーク)建設現場を視察

9月6日、役員15名でBP建設現場を視察しました。

当日は緊急事態宣言下のため、密を避け2班に分かれて大林組の担当者から説明を受けました。今年1月頃に作られたジオラマ(新球場と周辺の模型)が入り口に展示され、新球場完成予想映像を見られる部屋には、新球場に設置される座席12種類のうち、VIP席・バックネット裏席などの4種類の座席が設置され、座ることができました。

新球場の固定屋根は完成しており、レーン上をスライドさせ25分で開閉可能な部分は現在、足場を建設中とのことでした。屋根全体は、落雪に備え雪止めと淵に溜まる受け口を設けているそうです。

南面(ガラス面)は全体で70mの高さになる予定で、現段階で20m程度の高さまで枠組みができており、残り50mを作っていくそうです。枠の中には4m×1.8mの一枚ガラスをはめ込むということでした。

BPは、山を削りだし球場を掘り込んでいく形で建設しているため、新駅側と反対側では30mの高低差があります。そのため新駅側からは球場の1階部分に、反対側からは2階部分にアクセスすることとなります。

球場内部の座席も外面工事と同時進行で工事が進み、2割程度完了しているそうです。周辺設備のホテルの基礎工事も始まっており、新駅完成後は3000台分の立体駐車場が整備される予定です。

球場内に敷設される天然芝は建設現場の敷地内に5小屋に分けて水分量等を調整しながら育成し、北海道での芝の生育

環境に適したデータを収集しているとのこと。芝はそのデータを基にし、新球場の子面の下に道路からスロープ状に作る通気口で、全体に風を通して生育管理することとした。

大林組で用意していただいたワゴン車で工事現場内を巡回しましたが、数多くの重機が全道から集まっていたとのこと。当学生会員企業の名前が入った重機もみられました。

1日1000名程度が工事に携わるといふことで着工から市内の経済にも大きく関わっていることが窺い知れました。ボールパーク開業後も多くの経済効果を期待します。



商業部会(部会長 竹村 画二)

●親睦事業「2年ぶりのプロ野球観戦」

10月9日、会員20名でファイターズ対千葉ロッテマリーンズの野球観戦を実施。例年好評の事業ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することができず、今回は2年ぶりの観戦となりました。



札幌ドームでは入場者を最大2万人に制限し、座席は感染防止対策のため1つずつ間隔が空けられ、普段よりもゆったりと観戦することができました。

工業部会(部会長 蕪木 清文)

●幹事会・講師例会開催

10月18日、幹事会および講師例会を開催。

講師例会で、中小企業基盤整備機構の大橋昌氏から「アフターコロナ時代の企業」の更なる成長・発展のために「をテーマに講話いただきました。大橋氏によると新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のピークが過ぎ、急激な景気回復で資材・人手不足、原油高騰等の現状がある。アフターコロナではリモートでの仕事が増え、正社員という概念がなくなるかもしれない。自動運転やドローンの活用、生産現場でのロボット導入が進むとのこと。またSDGsへの取り組みも重要で、他の商品より多少高くても購入する消費者は3割程度いる。ダーウィンの進化論を用い、コ

青年部(部長 西尾 広美)

●絆 感謝運動「道路清掃」実施

この活動は、東日本大震災をきっかけに平成24年度より全国統一事業「絆」感謝運動の一環として実施しているもので、6月10日の「商工会の日」を基準日として全国各地で様々な地域貢献活動が取り組まれていきます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大で9月末まで緊急事態宣言が延長されたことにより実施を延期。10月3日、13時から部員10名の参加で北進通り、エルフィンロード、道道江別恵庭線の道路清掃をしました。例年は平日の夕方から行っていたが、日没が早いことから日曜日の昼間から実施。部員は道路脇に捨てられた空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などたくさんゴミを拾いました。



このイベントは新球場開業に向け機運を

新会員紹介

- 〇商業部会
 - 〇Grow Together
 - 平野 瑠衣 様
 - 山手町7-1-6
 - 〇株橙青
 - 松本 大輔 様
 - 中央3-8-4三和ビル302号室
 - 〇Fabbrro
 - 鍛冶谷 昌明 様
 - 西の里東1-1-15
 - 〇Jet
 - 戸田 環 様
 - 西の里東4-6-12
 - 〇株羅針盤
 - 河田 直行 様
 - 千歳市信濃2-1-7
 - 〇墓地清掃代行
 - 若松 和彦 様
 - 青葉町1-2-12

高めることを目的に開催され、約300名の参加者は市役所前の市民交流広場をスタートし、エルフィンロードを通り、建設中のFビレッジを一周。市民交流広場へ戻ってきてゴールする約4kmのコースをウォーキングしました。

参加者にはファイターズの限定ユニフォームが配布され、おそろいのユニフォームを着用。マスコットキャラクターのB☆Bのほか、サプライズゲストに稲葉篤紀SCOも参加し、一緒にウォーキングを楽しんでいました。

部員は参加者のコース誘導やスタート・ゴール地点での会場整理等、イベントの運営協力を通じ、新球場オープンに向け市民の機運を盛り上げることに協力することができました。



●満開のコスモスを彩るぬり絵
Cosmos in コスモス

Cosmos in コスモスのぬり絵展は、毎年子どもたちからコスモスのぬり絵を募集し9月の下旬にエルフィンパーク交流広場で展示。市長などを招いて表彰式を実施しています。

今年も9月7日から15日に実施予定で準備をしていますが、緊急事態宣言が9月30日まで延長されたことにより、展示会と表彰式を中止しました。

コスモスのぬり絵は7月上旬から小学2年生までを対象に募集。8月25日の締め切りまでに1,111枚ものぬり絵の応募がありました。9月7日には北広島美術協会から3名の方に協力いただき、24点の入賞作品を選出。多くの方に子どもたちの力作を鑑賞してもらいたいと思いましたが、展示する場を設けられず、入賞作品をデータ化し受賞者や小学校、幼稚園・保育園などに配布しました。

6月に種を植えた輪厚川河川敷のコスモス畑では、8月に今回初めて植えた早咲きのキバナコスモスが可憐に咲き、9月にはピンクや白のコスモスが満開となりました。来年は子どもたちの感性豊かなコスモスのぬり絵と満開に河川敷を彩るコスモスを見ていただきたいと思います。

●胸にきらめくステンドグラスペンダント
市内先進企業・市内観光資源等研修

10月12日に市内先進企業・市内観光資源等研修を実施。18名が参加し、黒い森美術館の見学とニールン・ペツガラス研究所でステンドグラス体験をしました。

黒い森美術館は帯広出身の銅版画家・渋谷栄一氏の作品を常設で展示する施設。ギヤラリーですが、ほかの作家の企画展も定期的に開催。今回は安部都乃氏の個展「さばくのばらへ陶芸展」が行われていました。展示室には器や音のなる石などが展示されており、展示品は購入することも可能とのこと。薄く焼き上げられている陶器は見た目よりも軽く参加者は興味深く鑑賞していました。

ニールン・ペツガラス研究所では、ステンドグラス体験でペンダントを作成。事前に選んで丸くカットされた硝子に銅テープを巻き、はんだ付けするもので、講師に作り方を教わり作品を作り上げています。同じ形でもガラスの色や配置で趣の違う作品となり、出来上がったペンダントを首に下げた参加者は満足そうでした。ニールン・ペツガラス研究所ではステンドグラス体験のほか吹きガラス体験もでき、購入することもできます。



今回の視察先は、名前は知っていても行ったことはないという方も多く、改めて市内の観光資源に誘客することの難しさを感じた研修となりました。

●観光客回復の兆しを感じる
道内視察研修

10月17日から18日の日程で函館市での道内視察研修を実施し、16名が参加。出発当日は中山峠や稚内市などで初雪が観測される寒い日でしたが、天気にも恵まれました。

函館市の地域交流まちづくりセンターでは施設の方に建物の成り立ちや、東北以北最古の自動式エレベーターについて説明を受けました。地域交流まちづくりセンターは大正12年に丸井井呉服店函館支店として建築されたもので、昭和44年までは百貨店として、昭和45年から平成14年までは函館市の分庁舎として利用されていたとのこと。



の場として活用されているそうです。施設には東北以北最古のエレベーターがあり、階数ボタンのないエレベーターは昇降を手動レバーで制御するため、昔はエレベーターガールが操作を行っていたとのことでした。

旧函館区公会堂は平成30年10月から始まった耐震補強を含む大規模な保存修理工事が今年4月に終了。保存修理により外壁が塗り直され、2階大広間も貸室として利用することができるとのこと。館内の展示もAR(拡張現実)が導入され、部屋の用途、椅子やテーブルなど華やかな雰囲気の家具の解説文などを、アニメーションや画像付きで楽しむことができ、多言語対応にもなっていました。他にも、金森レンガ倉庫や函館朝市、五稜郭タワーを見学。函館市熱帯植物園では、40年から50年に一度開花するリュウゼツランが開花準備中で注目を集めていました。

9月末に緊急事態宣言が解除になり、北海道でも旅行需要を高めようと新しい旅のスタイルが再開。各自治体でも独自の割引を行っています。視察中には中学生の修学旅行やツアー客のバスもありましたが、2、3台ほどで、団体客はまだ戻っていないようでした。その一方で少人数の旅行は動き出しているようでした。現在、国では「ワクチン・検査パッケージ」のツアーが実施されており、観光事業を回復させようとする動きが始まっていますが、団体旅行がコロナ前のように回復するには新たな一手が必要に感じた研修となりました。

■アフターコロナ時代の北広島市の中小企業の皆様へ、さらなる成長・発展のために

(独)中小企業基盤整備機構(略称:中小機構)北海道本部では北広島商工会と共同開催でオープン・イノベーションに有効活用できる企業マッチングサイトJ-GoodTech(ジエグテック)の活用説明会を11月25日(木)14時から約45分、ウェビナー(ZOOMによるセミナー)で行います。受講をご希望の方は申込先メールアドレス(yuyama-e@smi.go.jp)に①お名前②会社名③役職④電話番号⑤受講するデバイス(PC、携帯、タブレット)のメールアドレス

スに記載したメールを11月17日(水)までにお送りください。Zoomアドレスと注意事項等に記載したメールを⑤のアドレスにお送りします。(参加費無料)

今、コロナ禍が徐々に終息に向かいウイズコロナからアフターコロナへ、働き方が変わり、顧客のニーズも変化し、大きく社会が、市場が変わりつつあります。中小企業は生き残りをかけその対応が迫られています。なぜオープン・イノベーションが重要なのか、そしてオープン・イノベーションのためにJ-GoodTech(ジエグテック)をどのように活用することができるのか、丁寧に説明します。道内企業様のジエグテック活用事例なども用いて北広島市の中小企業の皆様向けに中小機構の専門家が判り易く説明しますので、奮ってご参加ください。ご参加をお待ちしております。2次元バーコード読み取りアプリを導入されている方は、左図の2次元バーコードをスマホにかざすと申込先メールアドレス(yuyama-e@smi.go.jp)を読み取ることができます。

小規模企業共済制度
経営者の退職金
全国で約120万人の経営者が加入
掛金は全額所得控除
無理のない掛金
月額1,000円~70,000円の範囲で自由に選択
共済金の受取りは一括・分割・併用の3タイプ
受取り時にも税制面で大きなメリット
災害時や緊急時には契約者貸付けの利用が可能
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

人も、会社も、もっと元気に!
中退共 小企業退職金共済制度
掛金の一部を国が助成
掛金は全額非課税。手数料も不要
外部積立型なので管理が簡単
パートさんの加入もOK
詳しくはホームページへ
中退共 検索

小さな掛金 大きな安心。
商工貯蓄共済
貯蓄: 毎月の掛金は、その大部分が貯蓄積立金となり、知らず知らずのうちに資金が積み立てられ自己資本の充実が図られます
保障: 掛金の一部が割安な保険料に充てられ、万一の場合、保険金をお受け取りになることができ、ご家族も安心できます。
融資: 一定条件のもとに低利な事業資金のあっせんが受けられ、企業の資金繰りが安定します。
貯蓄・保険・融資=安心の三重奏